

# 構造設計1級建築士

## 【重要なお連絡】

構造設計1級建築士の過去問解説は、H21～H29の解説を持って**停止**します(H30以降の過去問解説停止)。  
当初、研究会の調査では、構造設計1級建築士に関する市販の書籍がなかった。また資格学校の講座は、40万円等と高いことから講座として公開しました。2018年に入り、実行委員から「一般社団法人 日本建築構造技術者協会(以降、JSCAという)」から構造設計1級建築士の解答書が販売されているとの情報があり、資料を分析した結果、JSCA資料を推奨することで本講座を停止することにしました。

- ・JSCA資料は、過去問5年間の解答書であり詳細な解答内容
  - ・JSCA資料は、1冊4千円と安い費用であり誰でもJSCAから直接(郵送可)購入可能
  - ・研究会の構造設計1級建築士の講座内容は、過去問の解説でありJSCA解答書と類似
- なお、今まで掲載していた内容(H21～H29)は今後も継続公開することとした。  
以下は、今まで掲載していた内容です。

## 1. 試験の現状把握

構造設計1級建築士は、9月上旬に開催される「講義」を受けて、10月下旬に行う試験「修了考査」に合格すると取得できる。修了考査は、下記①と②の考査区分に分かれる。修了考査は、講義で配布される「講習テキスト」を持ち込むことができる(マーカー、付箋等可)。

- ① 法適合確認(構造関係規定に関する記述式5問)
- ② 構造製図(建築物の構造に関する4選択一式20問、記述式3問)

研究会の実行委員1名は、長年構造設計をしているベテランであるが、1回目の受験では、過去問学習をしない等から受験に合格できなかった(2回目に前年度の問題を参考にすることで合格した)。受験すると分かるが、問題はかなり難しく、構造設計ベテラン者でも簡単には合格できない。ただし、過去問を学習すると、比較的容易に合格できるが、過去問を解説した一般書籍が販売されていないので、HPで解説することとした(この点は、上述したようにJSCAから過去問5年の解答書が販売されたことにより当Hを停止することにした)。

## 2. 試験を1回で合格する方法

構造設計1級建築士の合格率は、年度により**10～30%**である。

1回の試験で合格するには、過去問の学習以外にないと推定する。逆の言い方をすると、過去問をしっかり学習すれば合格できる試験でもある。構造設計1級建築士は、構造設計のプロフェッショナルな方が受験するものである。当研究会は、センターから許諾を頂いた過去問そのものの提供と、簡単な解説をしている。また、「4択択一式」については、項目別に振り分け、その問題と解答をA3判に取りまとめた。ここを見て頂くと、「4択択一式」は、問題傾向が把握できて確実に解答できるようになる。

当研究会は、簡単な過去問解説であるが、H21～H29までの解説をしている。上述したようにJSCAから安価な過去問5年間の解答書(4千円、誰でもJSCAから直接購入可能)が販売されていることを受けて、当HPでの解答更新を停止した。ただし、JSCA解答書は、過去5年間の解答書なので、当講座(H21～H29)は、そのまま残すこととした。

※資格学校の講座は、40万円等と非常に高額である(他の資格講座も同じであるが、あまりに高額な点は?)。

受験資格のある構造設計の方は、JSCAの過去問5年間の解答書(4千円)を学習頂くと合格できると判断している。